

# 那珂川町夏まつり 多彩な催しに1万5千人



夏まつり実行委員会主催による第5回那珂川町夏まつりが8月15日、那珂川河川敷で開催されました。

新那珂橋上流河川敷の特設会場で行われた鮎とマスのつかみどりでは、午前11時の号砲とともに親子連れなど約440人が一斉に入水し、猛暑の中、泳ぎ回る魚相手に悪戦苦闘しながらも一生懸命に魚を捕まえていました。

また、若鮎大橋上流の主会場では、午後5時30分からの華麗な衣装の「ゆめっこ」によるYOSAKOI那珂川踊りに続き、まほろば太鼓の演奏が披露され、観客の皆さんの喝采を受けていました。

午後7時30分からは、メイイベントの花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩る3060発の花火に大きな歓声が上がっていました。

## 夏休み 愛荘町の中学生や神奈川の高校生が来町し、町民と交流

中学生姉妹都市交流事業として、那珂川町と姉妹都市である愛荘町（滋賀県）から、中学1年生5名（愛知中学3名、秦荘中学2名）が引率の先生らとともに8月18日に来町し、3泊4日の日程で、当町の中学1年生10名（馬頭中学5名、小川中学5名）と互いの学校活動を紹介したり、町特産のそば打ちや小砂焼き体験を通じて交流を深めました。

神奈川県の総合学科で学ぶ高校生14名が、那珂川町の文化と自然を学ぶため、8月3日から3泊4日の日程で来町しました。高校生の皆さんは、その間、ホームステイで町民との交流を深めたり、馬頭高校の生徒と一緒に間伐作業などの都会で味わえない貴重な体験をするなど、里山での生活を満喫していました。

また、最後にワークショップとして、地産食材を使って料理のレシピを開発、実際に調理し、交流事業の成果を発表しました。



そば打ち体験



間伐作業



小砂焼き体験



武茂川での川遊びを体験

